

子育てに この人から エール

ダメな子なんておらん！ 大切なのは周りの大人と環境

あんふあんWebの連載でもおなじみ、
「子育てブラックジャック」と呼ばれ、
今最も注目されている教育者のひとり、奥田健次さん。

数々の指導の中で感じることや幼稚園設立への思いを聞きました。

**親や環境が変われば
子どもは劇的に変わる**

「カウンセリングをしていて、うちの子はダメな子、というお母さんもいるが、それは違う。もともとダメな子なんてどこにもおらん！ 大切なのは、周りの大人がどう関わっていくかということ。関わり方を変えることで子どもは劇的に変わる」。そう語る奥田健次さん。発達にさまざまなある子どもたちとその家族のために、独自のユニークなアイデア満載のカウンセリングなどを行っています。

さまざまな親子と触れ合う中で、「熱心に子育てに関わる親がいる反面、子どもの方を全く向いていない、ネグレクト」なども増えていると実感する日々やね。

**幼稚園の新設を計画
理念は親子ともに
よい育ち**

「教育の現場でも、障害がある・なしは関係なく、子ども一人一人のニーズに合わせて



奥田健次さん

常識にとらわれない独自の指導プログラムにより、さまざまな子どもの問題行動を改善させる臨床心理士・行動分析学者。桜花学園大学大学院客員教授など研究者のキャリアを経て、2012年、「行動コーチングアカデミー」を設立。日本行動分析学会常任理事、子ども健康科学会理事。著書は「叱りゼロで「自分からやる子」に育てる本」「メリットの法則—行動分析学・実践編」など多数

て適切な教育を行う。インクルーシブ教育が国際的にも進められています。ただ日本では進んでいないと感じることが多いですね。

そんな状況や教育界に一石を投じたいという思いもあり、長野県西軽井沢で幼稚園の新設を計画し、今年6月、長野県に申請済み。認可されれば「行動分析学」を教育に取り入れた日本初の幼稚園となります。「理念は「親子ともによい育ち」。幼稚園という子どものための場と思われがちだが、僕の考える幼稚園は、むしろ親が育つ場。結局は関わる親や大人が変わると、子どもは必ずいい方向に向かう。そのために、先生の教育にも力を入れます。また地域の子どもとの相談室を設置したり、小学生の放課後支援も行いたい。小さい幼稚園から、力強い情報を発信して、共生社会の実現を推進したいですね。」

●新刊情報

子どもたちが劇的に変わる“ありえへん”カウンセリング 奥田健次さんの最新刊「拝啓、アスペルガー先生」

社会的にも話題になっている発達障害（自閉症スペクトラム、学習障害、ADHD）。奥田健次さんの新刊「拝啓、アスペルガー先生」は、発達障害の子どもたちとの、常識を覆すカウンセリングの様子を記した16の物語。奥田先生との楽しく面白いやり取りで、子どもたちが成長していく様子に心が揺さぶられます。あんふあんWebでは、「行動」に焦点を当てて、子育ての悩みを明るく楽しく解消するヒントを盛り込んだ爆裂コラムも連載中。

あんふあんWeb「爆裂子育てインフェルノオオオオオウ」

あんふあん 小学生ママの部屋 検索



「拝啓、アスペルガー先生—私の支援記録より」。飛鳥新社発行。定価1400円。12月にはマンガ版も刊行予定